

編輯後記

本号の編輯担当者は半田常任委員であるが、諸種の支障のため立川・渡辺・新崎長功・大塚照憲らが代つて校正その他を代行しました。本号には安部一郎氏の「歴史ものがたり」を加えました。創作であり、直接本県に関係あるものではないので、委員の間にも異論がありました。編輯時に原稿の集まりが悪かつた事情もあり、また創作とはいえ、史料を駆使した力作であるので、前例としないという条件で試みに掲載することになりました。会員の忌たんなぎ御意見を承わりたく思います。

県費補助の關係からか、会費納入がかんばしくありません。補助は自主財政の確立を前提としたものであることをお忘れなく、以前にもまして積極的な御協力をお願いします。なお本年度から会費は年五〇〇円に増額されたことを、重ねてお知らせしておきます。

次号は兼子常任委員が編輯担当者です。投稿希望者は、大至急に原稿をお送り下さい。なお図版・写真は最少限にお願いします。組み代・紙代の高とうは意外外です。

なお毎日新聞社出版の「大分県の歴史と文化」は部数少なく、会員諸氏にもいき渡らなかつたようで遺憾に思つています。本会の仕事として全文のまま、改めて出版しようという意見が強く、関係各方面にあたり交渉中です。幸いに実現の際には、会員諸氏の一層の御協力をお願いします。

(渡辺記)

昭和三十七年三月二十九日印刷 本号頒価 三〇〇円
昭和三十七年三月三十日発行

(非売品)

編集兼 代表者 渡 辺 澄 夫
発行人

印刷人 高 井 久 雄

大分市上野 電話②三七七五番

印刷所 三惠印刷株式会社

大分市駄原 大分大学
学芸学部国史研究室内

発行所 大分県地方史研究会

(振替下関五二九四番)